

令和元年度 東松山市水道事業決算の概要

業 務 量	
給 水 人 口	90,100人
給 水 戸 数	44,077戸
総 配 水 量	12,934,986 ³
総 有 収 水 量	11,652,683 ³
1 人 1 日 平 均 使 用 水 量	392ℓ

◆収益的収入及び支出（税抜）

項 目			金額(千円)	構成比	
収 益	経 常 収 益	営業収益	水道料金	1,664,520	88%
		その他の収益	7,931	1%	
		営業外収益	208,458	11%	
		小計(A)	1,880,909		
	特別利益	0	0%		
	事業収益(C)	1,880,909	100%		
費 用	経 常 費 用	営 業 費	人件費	97,327	6%
			受水費	689,271	40%
			委託料	236,382	14%
			修繕費	138,138	8%
			動力費	27,480	1%
			減価償却費	459,638	27%
			その他の経費	59,952	3%
		営業外費用	16,237	1%	
	小計(B)	1,724,425			
	特別損失	0	0%		
事業費(D)	1,724,425	100%			
経常利益 (A)－(B)			156,484		
純利益 (C)－(D)			156,484		
供給単価			142.84円		
給水原価			133.51円		

◆資本的収入及び支出（税込）

項 目		金額(千円)	構成比
収 入	固定資産売却代金	0	0%
	負担金	11,622	2%
	加入金	125,668	23%
	投資有価証券償還金	400,000	75%
	資本的収入(A)	537,290	100%
支 出	建設改良費	965,674	92%
	企業債償還金	81,292	8%
	資本的支出(B)	1,046,966	100%
差 引		△ 509,676	
補 て ん 財 源	当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額	67,863	
	減債積立金	81,292	
	過年度分損益勘定留保資金	360,521	
	補てん財源計	509,676	

◆貸借対照表

項 目		金額(千円)
総 資 産	有形固定資産	12,354,738
	無形固定資産	4,830
	投資	1,200,000
	流動資産	2,864,499
	(うち、現金預金)	2,753,986
	総 資 産	16,424,067
負 債	固定負債	752,119
	流動負債	599,227
	繰延収益	3,596,462
	負 債	4,947,808
資 本	資 本 金	10,402,821
	剰 余 金	1,073,438
	資 本	11,476,259
負債・資本合計		16,424,067

令和元年度東松山市水道事業報告書

1 概 況

(1) 総括事項

(業務の状況)

令和元年度末における給水人口は9万100人で前年度に比べ6人(0.01%)の増加となり、給水戸数は4万4,077戸で前年度に比べ543戸(1.2%)の増加となりました。

年間総配水量は1,293万4,986 m^3 で、前年度に比べ2万284 m^3 (0.2%)の減少となりました。年間総配水量の内訳は県水が1,115万6,867 m^3 、市水が177万8,119 m^3 となり、県水は前年度に比べ118万3,821 m^3 (11.9%)の増加、市水は前年度に比べ120万4,105 m^3 (40.4%)の減少しており、令和元年東日本台風での第一浄水場浸水による設備の機能停止及び第二浄水場第二水源の取水停止(令和2年1月16日再開)を県水で賄ったことに因ります。

また、年間総有収水量も令和元年東日本台風の影響により1,165万2,683 m^3 と、前年度に比べ5万6,205 m^3 (0.5%)の減少となりました。

(経理の状況)

・収益的収入及び支出(税抜)

事業収益は、18億8,090万9,391円で、前年度に比べ3,592万6,124円(1.9%)の減少となりました。また、給水収益は、16億6,452万456円となり、事業収益に占める割合は88.5%となりました。

事業費用は、17億2,442万5,025円の執行で、前年度に比べ6,086万6,463円(3.7%)の増加となりました。事業費の主なものは、受水費が6億8,927万1,242円(40.0%)、減価償却費が4億5,963万8,334円(26.7%)となります。

この結果、当期の純利益は1億5,648万4,366円となりました。

・資本的収入及び支出(税込)

収入は、消火栓設置工事負担金等1,162万1,990円、加入金1億2,566万7,960円、投資有価証券償還金4億円の合計5億3,728万9,950円となりました。

支出は、電気設備の更新や配水管の布設等の投資額9億6,567万4,114円、企業債の償還金8,129万1,469円の合計10億4,696万5,583円で、資本的収入支出差引不足額5億967万5,633円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額6,786万3,043円、減債積立金8,129万1,469円、過年度分損益勘定留保資金3億6,052万1,121円で補てんいたしました。

(建設改良事業の状況)

本年度は、配水管網整備のため、本町二丁目地内ほか市内5ヶ所において配水管を新たに布設し、老朽管の更新や配水管の布設替を市内9ヶ所で行いました。この結果、本年度末における導・送水及び配水管の総延長は35万252m、消火栓は1,130基となりました。また、施設の機能保全のため、第二浄水場電気設備盤や配水場・調整場計装設備の更新を行いました。